



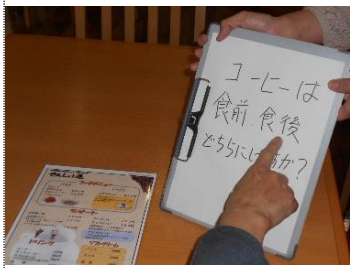

障害のある方(お客様)への配慮について

○障害とは？

種類	特徴
身体	手・足・体を自由に動かせない(肢体不自由)、目が見えにくい(視覚障害)、耳が聞こえにくい(聴覚障害)、内臓機能の低下(内部障害)等。
知的	読み書き計算、金銭管理、対人関係等(適応機能)に明らかな制約がある。
精神	幻覚・妄想・意欲低下(統合失調症)、強い執着・依存(精神作用物質による急性中毒又はその依存症)、知的障害、精神病質その他の精神疾患を有する。

○障害のある方への配慮

障害のある方が来店されたときは、「必要な配慮(お手伝い)はありますか」、とお声掛けし
 いただき、配慮をしていただくと助かります。配慮の事例について、いくつか紹介します。

【身体障害】	
[肢体不自由(車椅子利用者)]  <ul style="list-style-type: none"> ・入口、通路に近く、車椅子の動くスペースの確保 	[視覚障害]  <ul style="list-style-type: none"> ・注文:メニューの読み上げ ・配膳:時計針の方向で説明
[聴覚障害]  <ul style="list-style-type: none"> ・筆談 (紙に書いて会話する) 	
【知的障害】  <ul style="list-style-type: none"> ・メニューに絵、写真を付ける。 ・会話は、ゆっくり分かりやすくする。 	【精神障害】 <ul style="list-style-type: none"> ・不安を感じさせないように穏やかに対応する。 ・会話は、ゆっくり具体的に伝え、返答は急がせず、ゆっくり待つ。

仙台市若林障害者福祉センター

( 社会福祉法人 仙台市障害者福祉協会)

電話：022-294-0450